

# 競技会で使用する略語・略号

## 1 スタートリスト・リザルトに用いる略語・略号 (132条4)

\*一部は記録用紙にも使用

略号	日本語表記	読み / 意味
DNS	欠場	Did Not Start
DNF	途中棄権	Did Not Finish
NM	記録なし	No valid trial recorded
DQ	失格	Disqualified
○	成功・有効試技 (走高跳・棒高跳)	Cleared
×	失敗・無効試技 (フィールド競技)	Failed
—	パス (フィールド競技)	Pass
r	試合放棄 (離脱)	Retired from competition
Q	順位による通過者	Qualified 備考②参照
q	記録による通過者	qualified 備考②参照
q R	救済および審判長等の決定による通過者	Advanced to next round by Referee
q J	ジュリーの決定による通過者	Advanced to next round by Jury of Appeal
<	ベント・ニー (競歩)	Bent knee (Race Walking) 備考③参照
~	ロス・オブ・コンタクト (競歩)	Loss of contact (Race Walking) 備考③参照
YC	警告	Yellow card
YRC	2回目の警告	Second Yellow card
RC	レッドカードによる失格	Red card

## 2 記録用紙、電光掲示盤等で用いる略語・略号

記録用紙、電光掲示盤等への表記は、下記の略号等を用いて簡潔に表記してください。

また、略語 (略号) を使用する場合は、使用する略号一覧と説明等をプログラムに記載して観客、競技者に意味が分かるようにしてください。

\*スタートリスト・リザルトにも可能であれば必要な略号と説明を記載してください。

略号	日本語表記	読み / 意味
WR	世界記録	World Records
=WR	世界タイ記録	Equal World Records
WIR	室内世界記録	World Indoor Records
=WI	室内世界タイ記録	Equal World Indoor Records
WJR	U20 (ジュニア) 世界記録	World U20 (Junior) Records
=WJ	U20 (ジュニア) 世界タイ記録	Equal World U20 (Junior) Records
WJI	室内U20 (ジュニア) 世界記録	World U20 (Junior) Indoor Records
=JI	室内U20 (ジュニア) 世界タイ記録	Equal World U20 (Junior) Indoor Records
NR	日本記録	National Records
=NR	日本タイ記録	Equal National Records
NIIR	室内日本記録	National Indoor Records
=NI	室内日本タイ記録	Equal National Indoor Records
NJR	U20 (ジュニア) 日本記録	National U20 (Junior) Records
=NJ	U20 (ジュニア) 日本タイ記録	Equal National U20 (Junior) Records

N J I	室内U20(ジュニア)日本記録	National U20(Junior) Indoor Records
= J I	室内U20(ジュニア)日本タイ記録	Equal National U20(Junior) Indoor Records
N Y R	U18(ユース)日本記録	National U18(Youth) Records
= N Y	U18(ユース)日本タイ記録	Equal National U18(Youth) Records
N Y I	室内U18(ユース)日本記録	National U18(Youth) Indoor Records
= Y I	室内U18(ユース)日本タイ記録	Equal National U18(Youth) Indoor Records
G R	大会記録	Game Records 備考①参照
= G R	大会タイ記録	Equal Game Records 備考①参照

2017\_02改訂 (陸連No. 35)

注……「ジュニア」=U20(競技会が行われる年の12月31日現在で18歳あるいは19歳の競技者)

注……「ユース」=U18(競技会が行われる年の12月31日現在で16歳あるいは17歳の競技者)

※……ただし、U20の記録は19歳以下、U18の記録は17歳以下が出した記録が認定される。

### \*備考

① 大会記録の表示は、大会の規模や性格により表現が異なるため、国内大会では従来のとおり大会記録(GR)を使用して下さい。

ただし、国体や国際大会など競技運営システムで対応可能なものについては、下記の略語(例)などで対応をお願いします。

例) 国体 【 GR: Game Records 】、日本選手権 【 CR: Championship Records 】  
ゴールデングランプリ 【 MR: Meet Records 】

② 「Q、q、qR、qJ」について

#### 1) トラック競技の場合(例 3組2着+2)

Q: 各組2着以内の競技者 → Qualified by place  
q: 3着以下で、記録が上位の競技者2名 → qualified by time  
qR: 救済および審判長等の決定による通過者  
qJ: ジュリーの決定による通過者

#### 2) フィールド競技の場合

Q: 予選通過標準記録突破者 Qualified by pre-set standard  
q: 規則第180条15による決勝進出者 qualified as per rule 180 - 15  
qR: 救済および審判長等の決定による通過者  
qJ: ジュリーの決定による通過者

\* 予選通過標準記録を突破した競技者が12名に満たない場合、決勝進出者を12名とすることから、予選通過標準記録突破者に(Q)を、規則第180条15による決勝進出者に(q)をつける。

③ 競歩競技のベント・ニー(<)、ロス・オブ・コンタクト(~)について

(<)、(~)の略号は競技運営上、競技者にパドルや表示板で示す場合や記録用紙に違反のマークとして使用される。したがって、大型映像やリザルトに失格の理由が表示される場合は、DQと下記のK1~K5の表記が用いられる。

④ 失格の理由等は、略号等を使用して表記して下さい。その略号は、主催団体で決めてかまいません。

陸連No. 35)